

ビヨントゥモロー 東北未来リーダーズサミット2012

2012年10月12日(金)~14日(日)
(東京・渋谷区)国立オリンピック記念青少年総合センター

一般財団法人教育支援グローバル基金
<http://www.beyond-tomorrow.org/>



今年第2回目の開催となる「東北未来リーダーズサミット2012」では、東北被災地を代表する高校生60名が10月に東京に集結し、各界で活躍するリーダーと共に東北の未来の姿について提言を考え、発表します。昨年は、東北の防災計画についてまとめた提言を、参加高校生が自ら古川元久国家戦略担当大臣に届けました。

今年も、震災という困難を乗り越え、世界・社会のために立ち上がろうとする高校生60名を、募集します。

- 応募・選考日程: 8月27日応募開始予定。9月中旬締切、順次選考結果を発表予定。
- 参加費用: 無料(東京までの往復交通費・宿泊費・プログラム中の食費は原則として主催者が負担)
- 事前登録受付中: <http://www.beyond-tomorrow.org>

Dialogue with Leaders - リーダーとの対話 -



私は、ビヨントゥモローのプログラムを通して、被災地の学生と対話する機会に恵まれました。震災によってもたらされた彼らの悲しみと衝撃は、想像を上回るもので、そのような困難に直面しても、夢と希望を失うことなく前に進もうとする姿に心を打たれると共に、若い世代が自らの声で生の体験を発信していくことの重要性を痛感しました。
竹中 平蔵
慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 所長 総合政策学部 教授



ビヨントゥモローのプログラムを通じて、日本に、世界に、メッセージを発してください。そして皆さんが復興の先頭に立ち、日本を再生させていくリーダーになっていただくことを心から願っております。
古川元久
衆議院議員 国家戦略担当大臣、
内閣府特命担当大臣(経済財政政策、科学技術政策)、宇宙開発担当大臣



2011年3月11日以降の経験によって培われた世界観や原動力で、ビヨントゥモローの学生は日本の次世代のリーダーとなるエネルギーや創造性にあふれています。それは彼らのもつ責任であり、そして機会でもあります。私たちは、あらゆる可能な手段で彼らを支援していきたいと考えています。
ジョン・V・ルース
駐日米国大使

大変なことを経験した人にしか果たせない、役割がある。
その使命が、東北の、日本の、世界の未来を創る。

ビヨントゥモローとの出会いが、人生を変えた。

ビヨントゥモローに参加して実際に会うチャンスがあるとは思っていませんでした。リーダーたちに会うことができました。その直後に進路変更、AO入試で第一志望校へ。

加藤英介 慶應義塾大学環境情報学部1年
(宮城県気仙沼市 東陵高等学校卒業)

“震災後、ビヨントゥモローに出会い、各界で活躍するリーダーたちとの出会いに衝撃を受けた。より広い世界を知りたいと、急に進路を変更し、慶應義塾大学受験を決意。東北未来リーダーズサミットでの経験をAO入試でアピールし、環境情報学部合格することができた。東北未来リーダーズサミットでのディスカッションで考えた一つ一つのことが、今の自分の学びに生きていると思う。”



東北未来リーダーズサミットで、目標にしたいリーダーに出会ったことが、自分の進路を決定した。

菊地将大 筑波大学社会・国際学群1年
(岩手県陸前高田市 高田高等学校卒業)

“どんなことをするのか分からないままにサミットに参加したが、そこで参議院議員の松田公太さんに出会いその存在が自分の目標となった。松田さんの母校の筑波大学を自分も目指し、サミットの直後の推薦入学で無事に合格することができた。震災で両親を失い、目の前で街が流される様を見るという衝撃があったが、だからこそ将来は陸前高田市の市長となり、自分の手で復興を実現するという夢を叶えたいと思う。サミットに参加していなかったならば、今の自分はない。”



ビヨントゥモローに出会い、米国留学を実現。クリントン国務長官の前での代表スピーチで述べた、外交官になる夢に向かって前進します。

有本温子 福島県いわき市 福島工業高等専門学校2年
(2012年秋から、米国メリーランド州の高校へ留学予定)

“原発から3キロのところにあった自宅に戻れなくなり、避難生活を送っている時にビヨントゥモローの存在を知りました。世界で活躍する外交官になるという夢をかなえるために、ビヨントゥモローの高校留学プログラムで今年の9月からアメリカの高校に留学します。ビヨントゥモローに参加して、クリントン米国務長官の前で代表スピーチをしたり、各界で活躍するリーダーから助言をもらうというチャンスいただきました。このようなチャンスを大切に、グローバルに活躍できる人材になるべく、アメリカの大学進学を目指します。”



東北未来リーダーズサミット プログラム内容 (2011年の例)

- 1日目 オリエンテーション
- 2日目 朝食セッション(ジャーナリストや政治家との対話)・提言課題発表
グループディスカッション・プレゼンテーション作成・ウエルカムディナー
- 3日目 提言発表・スピーチ・閉会式・フェアウエルパーティー